パートナー
静岡市清水市民活動センター情報誌　2021年10月1日　Vol.111
市民活動はまちの未来を創造する

発行：静岡市清水市民活動センター
指定管理者：NPO法人NPOサポート・しみず
〒424-0943 静岡市清水区港町2-1-1
TEL：054-340-1010
fax：054-351-5530
mail：mail@shimizu-s-center.org
HP：http://shimizu-s-center.org

未来（あした）につなげよう

市民活動センター15年のあゆみ

清水市民活動センター周年事業

清水市民活動センターが清水区港橋に誕生して早くも15年。毎年多くの参加者を集めにぎやかに交歓してきた周年事業は、昨年以来その形を変えることになりました。

現在、11団体が15周年事業実行委員となり準備が始まっています。

一部オンラインも活用して話し合いが繰り返され企画を検討している最中ですが、市民活動のこれからの展望を前向きに考える機会にしようと、活発に意見が交わされています。

実行委員会には初めての参加になりますが、皆様の市民活動へのお気持ちは大変強いなあと感じています。また、そういった先輩方の背中は、後に続く世代としては心強いものです。

当日は様々な団体や人がつながるワークをおこなう予定です。

私もこういったワークが市民活動団体にとって非常に大切だと思っていますので、今からとても楽しみです。

15周年のお祝いと感謝の気持ちを込めて、市民活動について心ゆくまで語り合いましょう！

15周年記念事業実行委員長　静岡２.０　柴田　涼

15周年記念事業実行委員会

ＮＰＯ法人かっぱらぱ編集室、静岡2.0、清水映画サークル協議会、清水おやこ劇場、清水海洋少年団、ＮＰＯ法人青少年就労支援ネットワーク静岡、ＮＰＯ法人精神障害者生活支援よもぎ会、チームつながり、ミモザの会、ＮＰＯ法人ゆうゆう舎、(特活)ＮＰＯサポート・しみず

蒲原を行く　その③

まちと子どもたち

蒲原地域では、静岡市
「子どもフォーラム」を
今号は、長年子どもた

NPO法人旧五十嵐邸を考える会

「旧五十嵐邸を考える会」（以下「考える会」）は、国登録有形文化財となった「旧五十嵐歯科医院」の保全と活用を住民で考え住民参加によるまちづくりを実現するため1999年に設立され、2002年以降その管理・運営をおこなっています。

建物の保全や見学者のためのガイド事業の他、子どもたちに伝統文化、昔のくらし方を後世に伝えるための「昔の暮らし体験事業」や土壁作りのワークショップ、子どもアーティスト養成講座等の活動にも取り組んできました。

『蒲原宿子ども案内人養成講座』

この講座は、2016年から始まった事業で、小学校の高学年から高校生までの子どもたちが蒲原の歴史と史跡について学び、11月の蒲原宿場まつりで実際にガイドに挑戦してきました。

今年も８月５日から３日間、座学のほか、実際にまちを歩き、訪れる人に楽しみながら知ってもらうための工夫などを学びました。講師は、地域の中学校で教鞭をとっていた望月一民さんで、初日から熱心な講義が続きます。残念ながら新型コロナウイルスの影響により２年連続でまつりが中止になってしまいましたが、それに代えて蒲原西小学校では発表会がおこなわれるそうです。

５年連続で参加しているという高校生からは、「講座に参加して、蒲原の印象が変わった。田舎で何もないと思っていたが、色々知っていくことで歴史のあるまちだと感じるようになった。」という嬉しいコメントをもらいました。

2021年度のプログラム

１日目：ガイド養成講座	２日目：ガイド解説資料調べ	３日目：ガイド実践講座
初日は蒲原の歴史を勉強する	ガイドする場所について詳しく調べる	まちに出て実際にガイドに挑戦

▲教室は自然な風が心地よい旧五十嵐邸

▲蒲原地域に関連した沢山の資料

▲講師の望月さんから現地レクチャー

最近は、学校教育の一環として地域の特産品や歴史の学習にも力が入れられており、「考える会」は、小中学校の教員の研修で蒲原宿の案内を依頼されるなど、学校との連携も進んでいます。また、夏休みの宿題を持って旧五十嵐邸を訪れる子どもたちや親子もいて、一緒に手伝うこともあるそうです。

理事長の片瀬信江さんは、「子どもたちは旧五十嵐邸のような建物が残るまち並みに親しみ、歴史を知りながら、蒲原の良いところを見つけています。そして、私達も子どもたちから元気をもらっています。」と笑顔で話していました。

◀小学生から高校生までそろった参加者

市との合併以前から子ども会連合やかんばらＮＰＯコンソーシアムによって「子ども議会」、を開催するなど、まちぐるみで子どもたちの育成に力を入れてきました。
たちとの関わりを大事にしながら活動を続けてきたふたつのＮＰＯの取り組みを紹介します。

活動で大事にしていることは、参加者、ボランティア、主催者が楽しくて、満腹になること！！

NPO法人自然公園づくりの会

2000年８月に開催された蒲原町子ども連合主催の子ども会議のワークショップで、子どもたちから「こんな公園がほしい」という希望やアイディアが出されました。これを実現するために、2002年に団体の前身である中尾羽根自然公園づくりの会が発足。2003年４月に、旧蒲原町から中尾羽根プレーパークプロジェクトの委託を受け、中尾羽根親水公園で事業をはじめました。以来、公園全体を活用して大人も子どもたちも参加できるイベントをおこなってきました。

理事長の大沼正伸さん→
アウトドア活動が好き

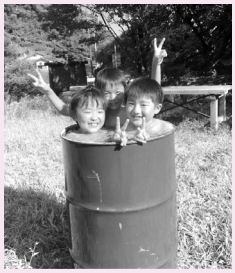
ワンデイキャンプ

『中尾羽公園は遊びの宝箱』

プログラム

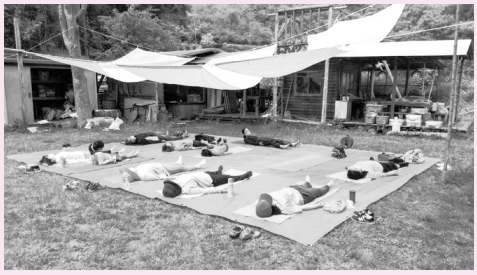
集　合
クッキング
遊　ぶ
食　事
解　散

▲クッキングは、みんなで楽しく


▲人気NO.1ドラム缶風呂

▲子どもたちは沢遊び

▲こだわりのダッチオーブン
多い時は10品作ることも


▲大人が楽しめるイベントも開催
青空ヨガは、年８回開催

4つの活動指針

「幼児からお年寄りまで安心してすごせる公園」
「公園周辺の自然を活用して、自然との共存について学ぶことができる公園」
「子どもたちがやりたいと思う遊びが出来る公園」
「プレーリーダーなど公園内での事業展開にとって必要な人材が育つ公園」

プレーパークとは、プレーリーダーや地域のボランティアのもと、子どもが主体となり「遊び」をつくり、様々な体験ができる公園です。子どもたちは、そこにあるものを自由に使って、自分のやりたいことを実現していきます。

「燕之町（つばめのまち）」蒲原を目指して

大沼さんは、「公園に来ている子どもたちが親になった時に、子どもを連れてきたいと思える場所でありたい。その時に“大きくなったな～”、と出迎えられるように活動を続けていきたい」と言います。

「考える会」の片瀬さんも、「講座を通じて、子どもたちがもっとこのまちを好きになってもらいたい。そして大人になった時に、ツバメのようにここに戻ってきてほしい」と語っていました。

取材中、活動をしている方たちから『燕之町（つばめのまち）』という言葉をたびたび耳にしましたが、ツバメのように子どもたちが成人して子育てのために戻ってくるまちでありたいという思いがお二人の言葉からも伝わってきました。

NPOワンポイント 財務諸表 気になる「あるある」

ＮＰＯ法人の決算書類は事業報告書とともに内閣府のポータルサイトを通じて公開されています。その情報の中で、「前年度の次期繰越正味財産額と翌年の前期繰越正味財産額が合っていない」、「次期繰越正味財産額と貸借対照表の正味財産合計の金額が違っている」という団体が時折見受けられます。

総会に提案する前に確認し、監査にあたる方もチェックポイントとして目を通しておきましょう。

お知らせ

静岡市の市民活動を支援するポータルサイト「ここからネット」を活用していますか？

「ここからネット」は、静岡市が「より多くの人が参加するまちづくり」を目指して運営するポータルサイトです。

○ここからネットでできること

①市民活動団体の情報を手軽に検索できます
＝みなさんの団体情報のＰＲや、協働して活動できる団体とつながるきっかけに！

②イベント等の情報を、掲載・検索することができます
＝みなさんがおこなう活動の広報や、他の団体のイベントを調べることができます。

③市民活動団体やイベントの開催場所等を地図でチェックできます
＝身近な団体やイベントが一目でわかります！

住んでいる地域の「気になること」を解決するために、「ここからネット」の情報を活用して市民活動やボランティアに参加してみませんか。

また、市民活動を積極的におこなっているみなさんも、ここからネットを通じて一緒に活動する仲間を探してください。清水・番町市民活動センターでは、『ここからネットの困った』相談に対応しています。

kokoka-net

しみず・ゴレなぁに？ その47

あまりにも有名な歌川広重の浮世絵、東海道五十三次16番目の「蒲原 夜之雪」。ＪＲ蒲原駅から歩いてほどなくして見つけることができるのがその碑です。

昭和35年、国際文通週間記念切手として「夜之雪」の図柄が使われたことを記念して建てられたそうです。

「『夜之雪』は背景の上の部分が黒いものと、下にいくにつれて黒くなるものがあります。上が黒いものが先に刷られたと言われていますが、文字の部分が隠れてしまうので下を黒くしたとも言われています。」「蒲原は暖かい地域なので、本当に雪が降っていたのか、広重が想像して描いたのではないかとも言われています。」

旧五十嵐邸を考える会主催の「蒲原宿子ども案内人養成講座」で学んだ小学生がこう説明してくれました。……なるほど